

わくわく

12月会議号
2019.2.1
No.196

涌谷保育園 クリスマス会

(子どもたちの熱演に
大きな拍手が送られました。)

町長給与減額、副町長辞任	〈12月会議〉	2
町政を問う5人の提言	〈一般質問〉	5
念願の命の道が開通	〈追跡〉	13
29年度決算 僅差で再認定	〈11月会議〉	14
町政に生かす皆さんの声	〈議会懇談会〉	16
かがやく町民紹介	〈キラキラVoice〉	20

平成31年 謹んで新年のお慶びを申し上げます



浦谷町議会議長

遠藤 积雄

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

町民の皆さまには、穏やかな新春をお迎えのことと、心からお慶びを申し上げます。今議会も、はや四年目を迎えました。本年は、これまで以上に気を引き締め、与えられました責任を果たしてい

く覚悟でございます。

今日の町行政を顧みますと、子育て支援や就労支援政策、玄米専用食「金のいぶき」の特産化、既存企業への支援や企業誘致などの産業振興政策において、着実な成果を見せ始めております。

しかし、昨年発生した公金紛失事件は、誠に残念なことでありました。皆さまには大変なご心配

をおかけいたしましたことと、あらためてお詫び申し上げます。事件を明らかにし、事実に基づく決算書の再提案を要求し、再認定できましたことは、議会として最低限の責任は果たせたものと思っております。今回ほど議会の責任を強く感じたことはありませんでした。この経験を今後の糧とさせていただきます。

結びにあたり、本年が町民の皆さまにとりまして、幸多き、充実した素晴らしい年になりますことを、心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。



まで8カ月間)

で処分

議員の質疑から表面化
9月会議で議員が質疑を行ったことから発覚した公金紛失事件は、大橋信夫町長が給与減額50%（1月から8月の任期満了まで）、佐々木忠弘副町長が辞任するという、過去に例を見ない事態となりました。

町長お詫び
12月会議の行政報告の中で大橋信夫町長は、「町民の皆さまにご迷惑をおかけいたしましたし、町政への信頼を著しく失墜させてしまったことに関し、あらためてお詫び申し上げます。」と陳謝し、「今後、このような事案が再び起きることのないよう、再発防止に全力で取り組み、信頼回復に努めてまいります。」と述べました。

公金紛失に関する再発防止対策について

町は事件の重大さを認識し、昨年10月30日に、町長を委員長とする公金紛失に関する再発防止策検討委員会を設置し、調査と再発防止策の検討を行いました。

詳細は町のホームページに掲載してありますので、ご覧ください。

改善策及び再発防止策 (抜粋)

- ① 管理体制における改善策（↓公金取扱マニュアルの作成など）
- ② 職員の意識改革（↓危機管理・法令遵守の意識向上など）
- ③ 職場環境の改善（↓防犯カメラの設置、高機能レジスター導入の検討など）

※レジスター導入検討については31年度中に実施予定です。

12月 会議

公金紛失事案で引責

町長給与50%減額(任期満了) 副町長辞任 関係職員を12月7日付け

事件の経過 (時系列)

日時	内容	日時	内容
平成29年7月3日 16時30分過ぎ	・レジ精算時に、レジ内の現金140,000円が不足していることが発覚した。 ・数年にわたり保管していた過大収納金で当日時点で保有していた105,417円を補填、不足分は会計課職員が補填した。	平成30年9月10日	・決算審査特別委員会において、紛失した事案の処理方法などの議員の質疑を受け、町が紛失事案の経緯を説明。
平成30年3月6日 16時30分過ぎ	・レジ精算時に、レジ内の現金171,000円が不足していることが発覚した。	10月22日	・議会として、「決算認定議案の誤りを踏まえ、猛省を求めるとともに、修正し決算の再認定を行い、決算に係る既決補正予算の減額を行うことを求める意見書」を提出。
3月7日 9時頃	・会計管理者、税務課長が副町長、総務課長に3月6日の事案及び昨年7月にも同様の事案があった旨を報告。副町長はその旨を町長に報告。	10月30日	・町長を委員長とし、全課長職を委員とする「涌谷町公金紛失に関する再発防止策検討委員会」が設置され、事案の検証、問題点の把握、再発防止策などの検討が始まる。
3月7日 13時20分頃	・涌谷幹部交番及び遠田警察署の警察官が来庁し、会計管理者が状況を説明。 ・町が盗難の被害届を提出。	11月15日	・11月会議において、平成29年度涌谷町一般会計歳入歳出決算について、再認定の提案があり、賛成多数で可決。

町としての姿勢を問われている認識はあるか

一連の事案の発端となったのは平成29年7月に公金紛失があった際の職員の誤った対応であり、その後、現在に至るまで混乱を拡大させたことは、町の不適切な対応が原因となつていきます。

過大収納金と職員の私費で紛失金の補填を行ったことや、事件が発生した事実を外部に公表しなかったことについて、「隠蔽する意図はなかった」との町の主張は、町民に受け入れられるものとは思えません。

修正前の決算書については、他自治体の事例を参考に未収金として記載したとのことですが、その適否について、県の担当部署へ確認することすらしていませんでした。

こうした町の対応は、自分たちに都合のいい事例を探し、外部の目に触れないよう処理しようとした、身内に甘い体質が現れてしまったものと見られかねません。

地方公務員としての覚悟を持って職務に精励を

町は今回の事件の原因について、職員※のコンプライアンス意識の欠如があったとしています。

公務員は法令を遵守することや、高い倫理観が求められるますが、それは公共の福祉を担うからその責務でもあります。失った信頼はすぐに取り戻せるものではありません。職員全員が地方公務員としての覚悟を持って、職務に精励していくことを望みます。



役場全体の問題であることを認識してもらいたいが…

※コンプライアンス…法令順守。法律や社会的な通念を守ること。

12月会議

議案

町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

公金紛失及びその後の不十分な対応に対する監督者としての責任を明らかにするため、町長給与の50%を平成31年8月30日までの間、減額するものです。

12月会議は、12月5日から7日の3日間で開催され、街路灯を維持する商店会への補助率を2割から7割に改正する条例など議案5件、専決処分報告1件、各会計の補正予算7件を審議し、原案どおり可決しました。
一般質問には5人の議員が登壇し、8項目について町政をただしました。

原案可決		報告
議案 5件	補正予算 7件	1件
一般質問 5人・8項目		

問 副町長が辞任することであるが、町長が給与を半減した場合、後任の副町長の立場はどう考えるのか。

答 後任については、まだ考えていない。

討論

反対 大泉 治議員

**責任のあり方
冷静に判断を**

自治体において間違つた業務を執行することは、決して許されることではなく、ミスを防ぐことも班や課の役割のひとつと考える。不適切処理した関係職員の処分も報告されたが、最も肝要なのは、今回のような失敗を二度と起こさない覚悟を持つ

て取り組むことである。議会は、責任のあり方を冷静に判断する必要がある。

町長給与50%を8カ月減額する責任の取り方は、あまりに限度を超えており、悪しき前例となり得る可能性があり、本議案に反対する。

12月会議採決状況

○：賛成 ×：反対 議長は採決に加わらない

件名	町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について											
竹中 弘光	佐々木 敏雄	佐々木 みさ子	稲葉 定	大友 啓一	只野 順	後藤 洋一	久 勉	杉浦 謙一	門田 善則	大泉 治	鈴木 英雅	遠藤 积雄
○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	議長

街路灯設置並びに維持に関する補助条例の一部を改正する条例

街路灯を維持する6商店会などに対する維持費補助率を見直し、現行の2割から7割に補助率を改正するものです。

問 今後、補助率の見直しは行うのか。

答 将来的に商店会の負担が増えれば、町が管理することも考えていく。

討論

賛成 久 勉議員

**街路灯の電気代
大きな負担**

商店街は本当に疲弊しており、多くの店が商売をやめてしまったり、組合費の負担さまままならず組合をやめていく方など、街路灯の電気代が大きな負担となっていると聞いている。町民が本当に困っているときに温かい手をさしのべることは、行政として当然であり、今回の英断に賛成する。

町民バス条例の一部を改正する条例

町民バス小里循環線ヨークベニマル前7時20分発の成沢回り(1便)が、涌谷高校生の利用者の増加により、乗車できない利用者が出ていることから、籠岳山線7時25分発(2便)を路線変更して対応するため、条例の一部を改正するものです。

討論

賛成 久 勉議員

**提言を受け入れ
予算化賛成**

以前より、町長の諮問機関である健康と福祉の丘運営委員会から、原材料費の明確化と職員の研修については指摘されてきたと聞いているので、そのような提言を受け入れて予算化したことに賛成する。

**平成30年度補正予算
訪問看護ステーション
事業会計補正予算**

ズバリ

12月会議では、12月5日に一般質問が行われ、5人の議員が町政全般について質問をしました。

質問と答弁は、質問した議員が600字以内で要約し、広報分科会委員が調製したものです。

町のホームページでは、動画の録画配信を行っていますので、そちらもぜひご覧ください。

涌谷町ホームページ URL
(<http://www.town.wakuya.miyagi.jp>)
一般質問動画配信ページ QRコード



一般質問

佐々木敏雄 議員 (6 ページ)

- 1 さくらんぼこども園の今後の考えについて
- 2 黄金山工業団地の工場誘致の見込みについて

只野 順 議員 (7 ページ)

- 1 再生可能エネルギーによる町づくりは
- 2 畜産業の現状と環境保全について

杉浦 謙一 議員 (8 ページ)

- 1 生活困窮世帯を生活再建させる考えは
- 2 原子力災害における広域避難の考えは

鈴木 英雅 議員 (9 ページ)

- 1 社会教育拠点について

稲葉 定 議員 (10 ページ)

- 1 涌谷町内において、必要な介護が提供されているか

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針などについての考えを問い、報告や説明を求め、よりよい方向へ導くものです。

町政をただす



佐々木敏雄 議員



問 さくらんぼこども園に集約する考えは

答 3歳以上児は地域の幼稚園に移動をお願いする



子どもたちには園で調理した給食を

問 さくらんぼこども園の園児の一部が待機児童解消策で園を移らなければならぬと聞いたが、来年度以降も同様なのか。

町長 入所を望むすべての子どもたちが保育所に入所できるようにしたい。月将館小学区以外の3歳以上児については、地域の幼稚園への移動の協力をお願いしていく。

問 涌谷幼稚園と南幼稚園の統合も検討する時期ではないか。

町長 幼稚園が廃園となる不安を抱かせた経緯がある。現在は園児数が増えており、非常に喜んでいただいている。

問 さくらんぼこども園に残った月将館小学区の3歳以上児も、園内給食設備があるのに町外外注弁当に変える方針か。

町長 他の町立幼稚園と同様に弁当給食を提供したい。今後、時間をかけて保護者の皆さまのご理解をいただくよう進めていく。

問 さくらんぼこども園から他の幼稚園に配送してはどうか。

町長 全体の園児に提供できる設備規模ではない。

問 小中学校の子ども の人数も減っている。給食センターを利用した配送はどうか。

町長 給食センターは幼稚園児には対応していない。他の自治体では幼、小、中に配送しているセンターもあるので、考える余地はある。

問 工業団地への企業の誘致見通しは

答 企業誘致に邁進する

問 当初は誘致企業3社の見込みが1社のみとなったが、今後の誘致見通しはあるのか。

町長 完成車両製造は宮城・岩手で生産台数の増加が見込まれる。電気自動車の車載装置関係、半導体産業が好調であるので、企業誘致に邁進する。

問 誘致企業の業種によつては追加整備(下水道など)が必要と思うが、その考えは。

町長 分譲単価にはね返るのでその考えはない。

問 企業誘致だけでなく、他施設の誘致の考えはあるか。

町長 公約でもあるので企業誘致にこだわる。



企業誘致は現在まで1社のみ他に企業が来る見込みがないのであれば、活用の検討を

問 畜産業の現状と環境保全について

答 問題解決に向けて指導する

問 畜産農家戸数の減少が著しい。畜産振興のための補助や支援があるが、生産者に具体的な指導を行っているのか。

また、既存施設での悪臭・水質汚濁・粉じん公害の対策はしているのか。

町長 農家戸数は減少しているもの

1戸当たりの飼養頭数は増加している。畜産農家減少の要因は、高齢化や後継者不足などにある。次世代人材育成事業や防疫助成事業を活用し、対策を講じている。

養鶏場の畜舎増設に伴って問題とされているのは、悪臭・粉じんなどについてである。地域住民及び業者から相談を受けており、業者は早急に改善策を講じた上で、地域

住民への説明会を行いましたとして

問

地域住民の反対や子どもたちが地域から離れるなど、地域コミュニティに影響する心配があり、その点を配慮して話し合いを進めてもらいたい。

町長

町としても、問題解決に向けてしっかりと指導をしていく。



地域住民の生活に支障がないよう配慮を

問 太陽光発電施設のこの一年間の普及状況は。固定資産税などの増加分で、公約の実現に優先的に取り組む政策はあるのか。

町長

平成30年10月末現在で31・2ヘクタールの敷地に106カ所の施設が稼働しており、1年間で40カ所が増加している。土地及び償却資産に対する固定資産税額は、年間約3700万円と試算している。来年度は1200万円程度の増加が見込まれる。税収分を有効に活用し、将来の子どもたちのために使っていく。



太陽光発電施設は年々増加 税収増を有効に活用したい

問

町の山林は加護坊山・笠岳山緑地保全地域に含まれ、県の自然環境保全区域になっており、開発は非常にハードルが高い。環境保全や防災面が心配である。業者と協定を結び、指導していくことが必要ではないか。

町長

地元住民の生活に支障のないよう、町と地元住民、発電事業主との3者協定を結ぶなど、しっかりと対応していく。

問

再生可能エネルギーによる町づくりは

答

税収は将来の子どもたちのために使っていく



只野 順 議員



問

生活困窮世帯の生活再建策は



杉浦謙一 議員

答

県の相談機関による 支援につなげている

一般質問

問 地方税滞納整理機構が、税滞納世帯から回収する方法は。

町長 家宅搜索や預貯金、給与などの財産調査を行い、差し押さえを実行し、滞納額の回収に努めている。

問 滞納している金額全額を、借り入れしてでも納税するよう指導しているのか。

税務課長 納税相談の中で、借り入れできる人には、そのように納税するように促している。

生活保護



問 滞納世帯が生活困窮者であるならば、生活再建できるよう支援すべきではないか。

町長 法に基づく県の支援事業で実施している、自立相談支援センター「ひありんく」での相談支援や就労準備支援などにつなげている。

女川原発の再稼働 町長の考えは

国が総合的に 判断するものと考える

問 宮城県からの要請があれば、石巻市から避難者の受け入れを行うこととしている。

原子力災害における町外避難者の受け入れの具体的な考えは。

町長 平成29年12月に締結した協定書では、石巻市の住民が当町に避難する際、上限は800人となっている。B&G海洋センターに避難することになる。

問 山形県大石田町と協定を結んでいるが、広域避難の考え方は。

町長 涌谷町が全町避難となった場合、大石田町が全町民を受け入れることは、現実的にはかなり難しいと考えている。

問 東日本大震災で、女川原発の外部電源が1つしか残っていなかったことは非常に危険な事実であった。原発再稼働について町長の所見は。

町長 再稼働については、国においてはエネルギー政策の中長期的な観点から総合的に判断されるべきものと考え



石巻市の住民を受け入れるB&G海洋センター



地域住民のニーズを把握し、人の集まる公民館に

問 社会教育の拠点となるべき公民館は機能不足であると思う。町として、公民館の有効的活用策をどう考えているか。

また、社会教育の拠点である公民館を、教育委員会ではどのように捉えているか。

町長 公民館は生涯学習、地域づくりの拠点施設として、それぞれの地域に根ざした特色ある管理運営を図っていくことが重要である。生活、文化の振興や地域の課題など、地域の事情や特性を十分に把握し、今後、指定管理制度の導入などを見据えながら検討していかなければならないと考えている。

教育長 公民館は、主にサークル活動や集会場として利用され、事業者による研修会や講演会会場、イベント会場としても利用されている。

今後、さらなる利活用

を考えるに当たり、指定管理者制度の導入を含め、公民館だけでなく、体育施設も併せた検討が必要と考えている。

町民皆さまのご意見を踏まえ、公民館運営審議会などで検討を行い、有効的活用策と効率的な運営を目指していく。

問 地域住民のニーズに沿った公民館の管理運営ができるように進めてもらいたい。

町長 各団体が公民館を利用し、新たなサークルが生まれ、それを次世代も引き継いでいく形が理想である。地域における活動を楽しむことができるよう、しっかりと議論していくことが必要と考えている。

教育長 指定管理の早期導入に向けて検討していく。

問 公民館の有効的活用策の考えは

答 指定管理制度などの導入を検討する



鈴木英雅 議員



問

介護サービスの充実を図れ



稲葉 定 議員



答

地域で在宅ケアを行う 介護制度を整えていく

福祉課長

施設への入所が必要な

包括支援センターへの相談については、どういった対応を行っているのか。

問

介護にかかわる人材を確保するために、社会福祉協議会で実施している介護員養成講座へ、医療福祉センターから講師を派遣し、引き続き支援して介護員の養成に努めていく。

町長

2025年問題を前にした現在、高まる介護需要に介護サービスは追いついているのか。

特別養護老人ホーム、老人保健施設、認知症対応型グループホーム、介護保険施設、いずれも待機者が発生している。在宅サービスの活用を進めるとともに、施設サービスについては、被保険者に対する保険料の影響を考慮しながら、介護保険事業計画において調整を図っていく。

一般質問

福祉課長

国が主導で、各市町村で在宅医療介護連携を進めるよう、施設だけでなく在宅でも介護や医療が受けられるように方針が変わってきている。浦谷町でも、美里町と連携して在宅医療介護連携協議会を立ち上げ、今後の対応策を協議している。

問

介護難民の発生がないようにするには。

町長

町として、今後の対応は、施設偏重ではなく、在宅ケアを行う地域の施設を活用したり、そういった施設に町が支援して介護制度を整えていく。国に対しても、施設・制度の充実を行うよう要望し、安心できる老後世代をつくっていききたい。



団塊の世代が後期高齢者（75歳以上）となる2025年 介護施設や人材が不足することのないよう町は対策を

議員 議発

誰もが安心して暮らせる社会の実現！

中小企業への支援策を拡充しながら、最低賃金の引き上げを。

最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書

雇用労働者の3人に1人が年収200万円以下

現在、日本の雇用形態は大きく変わり、非正規労働者が全国で約2000万人にのぼり、今や雇用労働者の3人に1人は非正規雇用者で、年収200万円以下の「ワーキング・プア」の状態にある。

依然として大きい賃金の地域間格差

また、賃金の地域間格差も大きく、宮城県と東京都では時間額で181円も格差があるため、将来を担う若者の県外流出を促している。

最低賃金を引き上げ、安心して暮らせる社会を

生活できる水準の最低賃金を確立し、それを基軸として生活保護基準、年金、農民の自家労賃、下請け単価、家内

工賃、税金の課税最低限度額などを整備すれば、誰もが安心して暮らせる社会をつくり、不況に強い社会を実現できる。よって、涌谷町議会は政府に対し、中小企業への支援策を拡充しながら最低賃金を引き上げるよう、下記の項目の早期実現を強く求める。

記

1 政府はワーキング・プアをなくし、生活できる最低賃金にするため大幅引上げを行うこと。

2 政府は全国一律最低賃金制度の確立など、地域間格差を縮小させるための施策を進めること。

3 政府は中小企業への支援策を拡充すること。

提出先
内閣総理大臣 殿 ほか

皆さんの請願・陳情

陳情第6号

最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める政府に対する意見書採択を求める陳情書の提出について

陳情者

宮城県春闘共闘会議 代表幹事 高橋正行

審査の結果 みなす採択

陳情第8号

「看護師の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める意見書」採択を求める陳情書の提出について

陳情者

宮城県医療労働組合連合会 執行委員長 中山 修

審査の結果 配布

陳情第10号

「介護従事者の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める意見書」採択を求める陳情書の提出について

陳情者

宮城県医療労働組合連合会 執行委員長 中山 修

審査の結果 配布

陳情第12号

涌谷町B&G海洋センターテニスコートを砂入り人工芝（オムニコート）化に関する要望書

陳情者

涌谷町ソフトテニス協会 会長 平 藤悦

審査の結果 配布

陳情第7号

「被災者生活再建支援制度の抜本的拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書

陳情者

東日本大震災復旧・復興支援みやぎ県民センター 網島 不二雄 ほか1名

審査の結果 配布

陳情第9号

「安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交代制労働の改善を求める意見書」採択を求める陳情書の提出について

陳情者

宮城県医療労働組合連合会 執行委員長 中山 修

審査の結果 配布

陳情第11号

「介護従事者の勤務環境及び処遇改善を求める意見書」採択を求める陳情書の提出について

陳情者

宮城県医療労働組合連合会 執行委員長 中山 修

審査の結果 配布

陳情第13号

上郡地区への鶏舎建設中止を求める陳情書

陳情者

上郡地区の自然環境を守る会 代表者 小嶋 隆治

審査の結果 総務産業建設常任委員会へ付託。

先進地に学ぶ 視察研修レポート

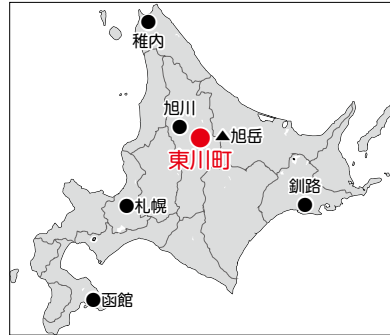
北海道東川町

～鉄道・国道・上水道がなくとも

人口を増やし続ける写真の町～



写真の町らしく、会議室も絵になります



北海道上川郡東川町

視察地

総務産業建設常任委員会

研修報告

目的

1 地域創生について
2 移住・定住施策について

東川町は、北海道のほぼ中央に位置し、人口約8200人、大雪山の清流を生かした農業や、木工業が盛んな町である。観光では「旭岳」や「羽衣の滝」を有し、山麓の温泉や市外地区を訪れる観光客は、年間100万人に達する。

町内に鉄道・国道・上水道の「3道」はないがこの20年の間に人口が約2割も増加している。

東川町の主な取り組み

① 「写真の町」宣言

1985年に世界でも類のない「写真の町」宣言を行った。町民が参加し、後世に残し得る町づくりとして、自然や文化そして人との出会いを大切に、「写真写りの良い町づくり」を進めている。

② 移住のための支援

居住者・移住者が住宅を新築・改修する際の支援や、新規起業家への支援などを行っている。

③ 充実した子育て環境

幼児センター、子育て支援センター、小学校などの施設の整備だけでなく、子どもひとりひとりを大切にいたささまざまな事業を実施している。

⑤ ひがしかわ株主制度

東川町のふるさと納税。株主になることで、株主限定企画への参加や、株主専用宿泊施設に無料で宿泊ができる。

④ 日本語教育事業

短期日本語・日本文化研修事業を町が主催し、留学生や研修生を受け入れている。海外からの交流人口の誘導策であると同時に、介護職の養成にもつなげている。

9/19

9/20

大泉治議員が宮城県文化の日表彰を受賞



大泉 治 議員

平成30年文化の日表彰の表彰式が、昨年11月9日(金)に仙台国際センターにおいて開催され、大泉治議員が地方自治功労宮城県文化の日表彰を受賞されました。涌谷町議会議員として、多年にわたる議員活動を通じて地方自治の確立と住民福祉の向上に尽力された功績によるものです。

追跡

—まちの未来を、町民と共に—

住民の命を守る避難道路が完成

赤心地区の沢1号線延伸工事



完成した道路 当日は渡り初めも行われました

昨年11月27日に、城山区赤心地区において、町道沢1号線の延伸工事竣工に伴う安全祈願祭が挙行されました。

赤心地区は集落内の道路がいずれも袋小路となっており、平成25年11月に地区内で発生した火災の際にも、地区住民は車の通行を数時間制限されるなど、避難路の確保が長年の課題となっていました。

翌年2月に、「赤心地区に避難路を整備する会」から町と議会に対し、沢1号線を延伸し、車での通行を可能にすることなどを含む陳情書が提出されました。



みんなで完成を喜びました

**住民の不安を解消し
安心安全なまちへ**

陳情を受けて議会は、常任委員会で調査を行い、「地域住民と対話を重ね、安心安全なまちづくりを実践することを強く要望する」陳情審査報告書をまとめました。

町は平成28年度から沢1号線道路改良に係る工事を進め、昨年11月に避難道路が完成しました。

住民の生命と財産を守ることは、行政の最も基本的な役割です。議会は今後、町民の皆さんと共にまちづくりを進めていきます。

地域住民の皆さんの声



祝「命の道」開通

城山区 大谷さつ子さん

細長い袋小路の沢道路で、数年前に火災が発生しました。大型緊急車両がスムーズに現場に到着することができない現実を目の当たりにした時、再び大きな不安を抱きました。

「このままではだめだ。」と住民が丸となり、町や議会に強く要望しました。

長年の願いが叶うまで50年以上の年月が経過しましたが、不安のない生活を送ることができるようになり、感謝の気持ちでいっぱいです。



沢1号線開通に思う

城山区 川名 勇さん

昨年11月27日、赤心地区の避難道路の開通式が執り行われました。

苦難の道を経て、町へ働きかけ推進してきた赤心地区の会長はじめ、用地を提供してくださった方、そして工事関係者のお陰で、念願の立派な避難道路が完成しました。周囲も見違えるほどきれいになり、安堵しています。隣地区の福沢地区の方も、道路がつながり大変喜んでいました。

多くの皆さんに心より深く感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

平成29年度決算再認定

賛成、反対拮抗 僅差で再認定

賛成 7 反対 5

町民の思い受け止め しっかりと行政執行を



平成 29 年度 一般会計・特別会計歳入歳出決算総額
(万円未満省略)

	歳入決算額	歳出決算額	差引額
一般会計 決算総額	79億4097万円	78億298万円	1億3798万円
()は修正前の額	(79億4066万円)	修正なし	(1億3767万円)

歳入決算額 79 億 4097 万円のうち 31 万 1 千円は亡失による現金不足である。
※差引額については、端数処理の関係上、数字が合わない場合があります。

公金紛失に係る平成29年度決算の修正に伴う再認定並びに9月会議で議決した補正予算の減額補正を行うため、11月15日に11月会議が開催されました。平成29年度決算の再認定については、決算審査特別委員会を開催して審議を行い、賛成7、反対5の賛成多数で原案どおり可決しました。
また、議員発議で佐々木忠弘副町長の解任を求める決議案が提出され、反対多数で否決されました。

議案

平成29年度浦谷町 一般会計歳入歳出決 算の再認定について

9月会議において認定された平成29年度一般会計決算について、その後、説明や会計処理が不適切であったとして「事実に基づき修正し、再提案すべきである」との議案からの提言により町が修正を行い、再提案された一般会計決算を再認定したものです。

修正の概要としては、平成29年7月に紛失した14万円と、平成30年3月に紛失した17万1000円の合計31万1000円について、亡失により現金が不足していることを明記するとともに、その内訳について、それぞれあるべき款項目に正しく修正を行いました。

11月 会議

決算審査特別委員会質疑

職員の立て替え

町は容認しているのか

問 7月の紛失時には、上司に報告もせず職員判断で立て替えを行っていたが、服務規程などに違反しないのか。

答 立て替えは本来やってはいけないことと認識している。公金の取り扱いマニュアルなどで職員に周知し、指導を徹底していく。

公金の取り扱い

早急にマニュアル整備を

問 役場では、各課でさまざまな公金を扱っているが、マニュアルはあるのか。早急に指導を徹底するべきと考えるが。

答 マニュアルはなく、各課でそれぞれ運用していた。再発防止策検討委員会の中で、現金取り扱いマニュアルなどを整備しなければならないと考えている。

原因を把握し

町民の不信払拭を

問 現金がなくなったことを本場に嚴重に受け止めなければならぬ。金額の多寡ではなく、原因がどこにあるのかを把握しなければ、町民の不信は払拭できないのではないか。

答 弁解の余地はない。過不足金が発生するの、原因の追求から対策を考えていく。

本会議中の誤った答弁

責任は重い

問 9月会議の決算認定の際に、町は県からの指導に基づいて決算書を作成したと説明したが、実際には県に確認していなかった。発言の責任は非常に重いと考えているが。

答 県に確認するよう職員に指示し、指導があったという報告を受けたので本会議で答弁した。理解不足もあり、大変ご迷惑をかけたと感じている。

討論

反対 佐々木敏雄 議員

危機管理意識なし

決算書の修正は職員自主性頼りで、全く上部の責任や指示などが見当たらない。

平成30年3月13日にも、5000円の不足金を留保金で処理しており、これまでの議会などで問題視している自覚が全くない。不祥事続きで、危機管理意識がない。5000円の不足金は年度内決算で処理すべき事項ではなかったのか。

反対 稲葉 定 議員

県の指導

文書に残して

決算の再認定にあたり、県から口頭で指導されたということであるが、文書に残すべきであり、そのような主張は全く信用できない。よって反対である。

反対 門田善則 議員

町民・議会軽視

大きな問題

9月会議中に開催した議会運営委員会の中での職員の発言や、本会議での副町長の虚偽の答弁は町民、議会を軽視した大きな問題で、それを追認した町長には大きな責任があると言わざるを得ない。

再提出の決算については、県の指導が確かなものなのか、まだ理解ができないことから、過去の経緯も踏まえ反対とする。

11月会議採決状況

○：賛成 ×：反対 議長は採決に加わらない

件名		平成29年度涌谷町一般会計決算の再認定について											
遠藤 稔雄	議長	鈴木 英雅	大泉 治	門田 善則	杉浦 謙一	久 勉	後藤 洋一	只野 順	大友 啓一	稲葉 定	佐々木みさ子	佐々木敏雄	竹中 弘光
○		○	○	×	○	○	○	×	○	×	○	×	×

議員発議

佐々木忠弘副町長に対する解任決議

反対多数で否決

提出者 稲葉 定 議員

提出の理由

町政に対する不信感を早期に払拭させ、正常な町政運営に一刻も早く復帰させたいため、事務執行のトップである、佐々木忠弘副町長の辞任が不可欠であると判断する。

討論

賛成 只野 順 議員

新体制で職員の指導

職場環境改善を

議会に対して説明を怠り、長期にわたって町政を混乱させている責任は大きい。再発防止策や綱紀粛正を早めに行うことが必要であるが、その気が感じられない。

責任を明確にする上で副町長に辞任勧告を行い、新たな体制で職員の指導、職場の環境改善に努めるよう、決議案に賛成する。

反対 佐々木敏雄 議員

特別職の責任

みずから判断を

提出者と全く同感であるが、副町長も特別職であり、道義的、政治的責任は十分感じていることと思う。

また、任命権者もいることから、議会からの決議ではなく、自主性に任せるべきと思ひ、決議案には反対する。

反対 大泉 治 議員

調査結果出ておらず

拙速すぎる

議会としては公金紛失及び不適切な事務処理に関する調査特別委員会を設置し、適正な事務処理と再発防止策などを提言することとしている。調査は始まったばかりであり、拙速すぎると考える。今回の公金紛失の件について、副町長が先導したかのような内容の決議案となっており、断固反対する。

11月会議採決状況

○：賛成 ×：反対 議長は採決に加わらない

件名		佐々木忠弘副町長の解任を求める決議案の提出について											
遠藤 稔雄	議長	鈴木 英雅	大泉 治	門田 善則	杉浦 謙一	久 勉	後藤 洋一	只野 順	大友 啓一	稲葉 定	佐々木みさ子	佐々木敏雄	竹中 弘光
○		×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×

若者の柔軟な発想 町政に生かす

涌谷高校生と初の懇談会を開催



懇談会形式で気軽に意見を出してもらいます

昨年12月12日に、町内唯一の高校である涌谷高校の生徒と懇談会を開催しました。涌谷町の印象、要望、ご意見などを聴かせていただき、議会として、より良いまちづくりに取り組んでいく目的で、涌谷町議会から開催を提案し実現したものです。

懇談会で出された意見

涌谷町をどんな町に？

- ・総合案内所やさまざまな人が交流できる施設、勉強に専念できる図書館などを駅前に設置する。
- ・高齢者と子どもの交流を増やす。(涌高生がつなぎ役となる。子どもの成長、高齢者の生きがいづくりにもなる。)
- ・交換留学制度を導入することで、町内の児童生徒は外の世界を知ることができるし、留学生には直接涌谷の魅力を伝えることができる。
- ・電車やバスの本数の増便。
- ・街路灯の整備や防犯対策。

涌高生として取り組みたいこと

- ・涌高ふれあい隊の活動を充実させる。
- ・自分の意見をしっかり伝える。
- ・高齢者との交流を深める、話し合う。
- ・地域活動に参加する。

懇談会は、前半で今後の涌谷町をどんな町にしたいかについて、現在の課題や意見を挙げてもらい、後半でその実現のために取り組めることを話し合いました。

生徒からは、交通の利便性向上や公共施設の充実などの意見のほか、町内の児童生徒が国内外へ交換留学する制度の導入や、涌高生がつなぎ役となつて高齢者と子どもたちの交流を促進することなど、さまざまな案が出されました。



高校生の発想に議員も感心しきりでした

懇談会実施後のアンケートでは、「もつとさまざまな案を出して涌谷町を活性化させたい」、「今まで以上にボランティアに参加したり、地域の人たちと交流できたら」などの、高校生らしい前向きで積極的な感想が多く、議会としても嬉しく思いました。

また、「もつと良い町にできるよう、実現に向けて取り組んでもらえれば」、「意見を何らかの形で役立ててもらえると嬉しい」といった声もあり、意見を精査・検討し町政の参考にしていきたいと考えています。

アンケートには、「高校を卒業しても、大人になつたら戻りたいと思える町に」とも書かれていました。高校生活は、長い人生の中でも忘れることのできない青春の日々です。議会は、その大切な時間を高校生が精一杯楽しむことができるよう、町の環境整備に努めていきます。

前向きで柔軟な発想
町政の参考に

議会懇談会

特集

議会懇談会

～まちの動きをみなさんへ
みなさんの声を町政へ～

昨年11月4日(日)、町内6地区の会場で議会懇談会を開催しました。

意見交換では、今後の涌谷町をどんな町にしたいか、皆さんの「夢」を語っていただきました。

意見・提言については議会全体で検討を行い、今後の活動に生かしていきます。

参加人数 合計 46人

二の袋生活センター	16人	八雲集会所	9人
下郡集会所	5人	日向公会堂	4人
生栄巻生活センター	6人	猪岡会館	5人

町民の皆さんからの政策提言

・猿手堤を清掃整備して、古代ハス(大賀ハス)を植えたらどうか。

・商業施設や若者の娯楽施設を誘致して。

・高齢者と若者の交流を進めよう。

・町のPRが足りないので、駅前に金をモチーフにした看板を。

・天平ろまん館と猿手堤の周辺を整備し、駐車場とトイレを設置することで、通行するドライバーの一時休憩、トイレ休憩の場所としてにぎわいができる。

・民間活用を積極的に行い、ソフト事業に力を入れてほしい。例えば文化センターの整備やイベントなど、自治体でできないことを民間を活用して町を元気に。

・農業公社制度を確立して農地の維持管理を。(後継者対策)

・農業の受託組織はあるが委託組織も必要。

・農業をもうかる産業に。「金のいぶき」のブランド化。

・健康な高齢者の働き場所を確保し、社会に貢献してもらおう。

・高齢者対策として移動販売車の配置を。

まちなか・施設・道路の整備

・天平の湯付近に道の駅のような施設を。

・笹岳山をもっと遊べる場所にしてほしい。

・高齢者介護住宅の建設を。

・文化施設、宿泊施設が足りない。

・公民館付近にグラウンド、サッカー場、パークゴルフ場などがあるので、人が集まる直売所の整備を。道の駅。観光客の呼び込み。

・涌谷駅から涌谷高校までの町並みを、人が集まり、きれいと思える町に。顔の見えるコミュニティー。涌谷町内(まちなか)に人の集まる町へ。

・まちなかを整備して、食事できる場所を。にぎわいを取り戻す。働く場所が必要。特色ある街並みに整備を。中心市街地の整備(空き家対策)、再開発が必要。デイサービス施設を集約して。

・三陸道につながる北上川を横断する橋と、東北道にアクセスする道路を整備すれば、便利になり交流人口が増える。

議会懇談会で出された主な意見・質問などをお知らせします。会場での回答に加え、町の考えを確認して掲載しているものもありますので、ご了承ください。
(項目の「議会・監査関係」以外は町としての回答を掲載しています。)

公金紛失に関する質問が多く寄せられましたが、議会では「公金紛失及び不適切な事務処理に関する調査特別委員会」を設置し、調査を進めています。

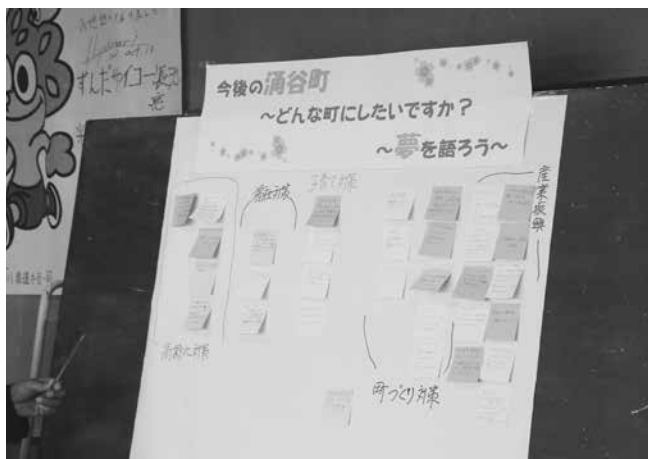
調査結果については、議会に報告した後、議会だよりでお知らせいたします。

議会・監査関係

質問・要望・意見	回答
決算審査の監査意見で指定管理に適さない施設が数力所あったということだが、どの施設か。	上地区コミュニティセンター、中地区コミュニティセンター、堆肥センターです。 (指定管理の目的が、施設の利活用の活発化であるため。)
議会のライブ中継をしてほしい。	検討しましたが予算の確保が厳しい状況です。
参加者が少ないので、議会懇談会の夜間開催、時期について、再考した方がよいのではないか。	検討課題といたします。
議会だよりが議会懇談会の開催3日前に届いた。懇談会のお知らせは、もう少し早くすべきではないか。	議会だよりの発行が年4回のため、チラシ配布が直前となりましたが、広報へ掲載するなど早めのお知らせに努めます。

町の考えは？

質問・要望・意見	回答
小里幼稚園、小里小学校跡地を福祉施設や企業へ貸し出すなどの施設利用の予定はあるか。また、その他の施設についても利用計画はあるのか。	主な未利用地は売却を基本にPRを行っておりますので、利用計画は策定しておりません。売却などに向けて今後ホームページなどにより、公表を行う予定です。
一本柳・淡島住宅の空き部屋が目立つが将来はどのように考えているのか。新しい住宅を建てるのか。	将来的には解体しさら地とします。総合計画や各種計画と整合性を図りながら検討していきます。



議会は町民のみなさんと話し合いながら、まちづくりを進めていきます

議会懇談会

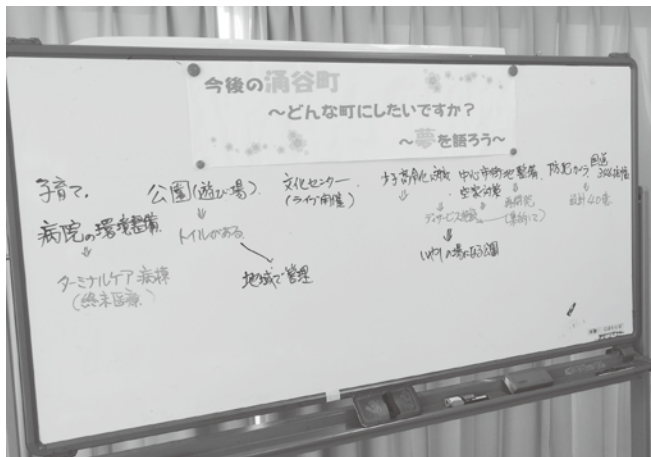
みなさんのご質問にお答えします

町への要望

質問・要望・意見	回答
自家野菜の放射線量を測ってもらえることができるか。	事前に総務課防災交通班に連絡をいただき測定予約をしてください。測定量については、0.5kg となります。(TEL43-2116)
町民バスを利用しているが利便性が良くないので、時間を調整するか、他の交通手段の検討をしてほしい。また、佐沼方面に運行経路を加えることはできないか。(登米市が生活圏であるため)	利便性が悪いとのこと指摘については、 ①運行ダイヤの都合上、現状の6台では増便が難しいこと。 ②利用率の高い時間及び区間を中心としたダイヤ設定としているため、ダイヤの変更は難しいこと。 ③他の交通手段についてもさらなる財政負担を伴うこと。 から、大きな見直しは行っておりませんが、今後の利便性の向上については、利用実績の推移を見ながら検討を行う予定です。佐沼方面への運行についてはさまざまな理由から難しいと思われれます。
農林業系廃棄物の混焼を行っているが、焼却前と焼却後の数値を広報で周知すべきではないか。また、放射性物質を焼却する日のカレンダー(予定表)を作成し町民に配布してほしい。涌谷町のホームページでも良い。	農林業系廃棄物の試験焼却は、大崎広域行政事務組合が行っており、分析結果や実施予定日は大崎広域のホームページで公表されております。また、涌谷町のホームページにもリンクを貼っておりますのでご覧ください。
各地域の掲示板を順番に新しくしてほしい。	掲示板の更新希望があれば、行政区ごとに5万円を上限に補助を出しておりますので、まちづくり推進課にお問い合わせください。(TEL43-2119)

改善・修繕を!

質問・要望・意見	回答
防災無線の難聴地区の早期解消を希望する。	スピーカーの向きや音量などで調整してきましたが、完全な解消には至っておりません。今後は、戸別受信機や防災ラジオなどの導入を協議・検討していく考えです。
中島の消防半鐘付近の道路が傾いているが修繕の予定は。	舗装路面の補修と併せ、水路側への傾斜を修正したいと考えております。工事は平成31年度を予定しています。



こんな町に住みたい みなさんの意見をまとめるとより良い町の姿が見えてきます



勝又 ふみさん
(下小塚区)

議会から
貴重なご意見をいただきありがとうございます。勝又さんは6年前から相撲甚句を始め、今では呼び出し(唄の合間に涌谷の名所・名物を紹介)も入り、初めて聴く方も、まるで涌谷を訪れているような気持ちになります。故高橋愛子さんからいただいた衣装をまとい、伸びやかなよく通る声で、涌谷を知ってもらう活動を続けています。これからもお体を大切にしながら、涌谷の魅力を発信してまいります。

議会に皆さんのご意見をお寄せください。

キラキラ

vol.7

Voice

Q あなたのことを教えてください。

A 我が郷土わくやの名所・名物を唄にしたオリジナル曲、「相撲甚句涌谷バージョン」を各団体機関や地域のイベントなどで披露しています。少しでも多くの方に涌谷の名所・名物を知ってもらいたいと考えていますので、これからも続けていきたいと思っています。

Q 議会についてどう思いますか。

A 少子化が進むことは非常に心配なことですが、若者の結婚願望が希薄になっていると聞きます。町として昔の仲人さんのような役割の方をもうつけ、若者のお世話をしていただけると、結婚する人も増えるのではないのでしょうか。

Q 涌谷町をどう評価していますか。

A 若者が地元に残って仕事ができるような環境づくり(企業誘致)に力を入れてほしいと思います。

議会を傍聴

しませんか

次回の定例会は

3月上旬ごろ

開催予定です

詳しい日程と一般質問の内容は、後日配布の「定例会のご案内」でお知らせいたします。場所は役場西庁舎2階です。詳しくは、議会事務局にお問い合わせください。

☎43-2127



一般質問を 動画配信しています。

当議会では、議員ごとの一般質問の内容を、涌谷町ホームページで動画配信しています。ぜひご覧ください。



編集ろまん だより

新しい年。春の訪れとともに、平成から新たに元号が変更されます。今年には涌谷町長選挙、参議院議員選挙、県議会議員選挙、涌谷町議会議員選挙が行われます。

さて、今議会も任期最終年の四年目を迎えました。公約は実現できたのか。議会として何ができ、町の課題は今後どうするのか。この町の将来を展望しながら政策を提言することができたのか等々を自問自答しながら、まずは町民の皆さまの福祉向上と、平和で穏やかに暮らすことができる政治を行うことが肝要であると、年の初めに決意をいたしました。

(只野 順)

- 編集 広報広聴常任委員会広報分科会
分科会長 只野 順
副分科会長 竹中 弘光
委員 鈴木 英雅
委員 稲葉 定
委員 佐々木 みさ子
委員 佐々木 敏雄